

A world map with a light green background and black outlines of continents and countries. The map is centered on the Atlantic Ocean.

Weekly Market Monitor

---主要コモディティ・金利編---

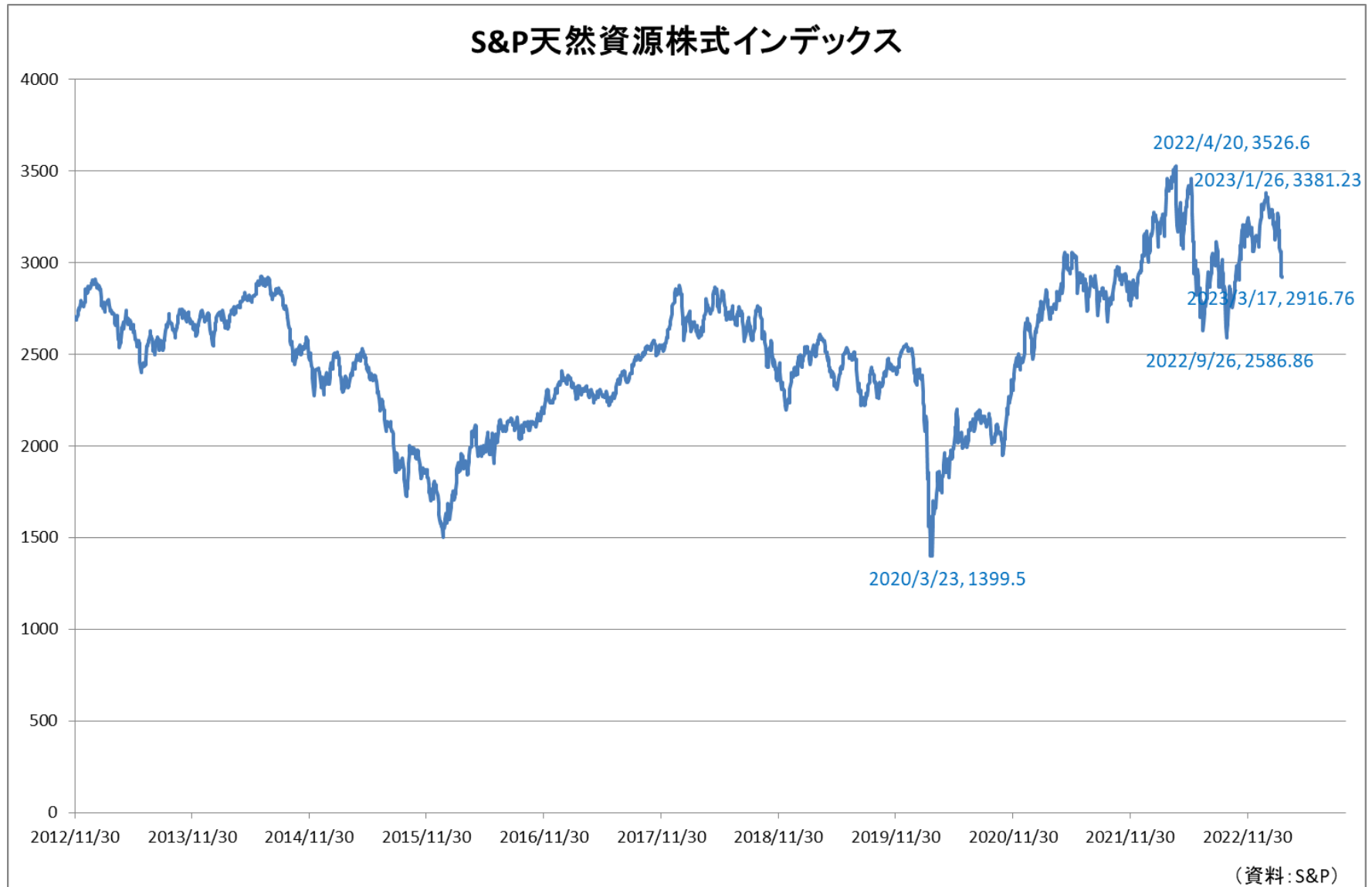
2023年3月17日データ迄収録

コモディティ指数はピークアウトも足踏み状況

CRB指数の推移
(対数)

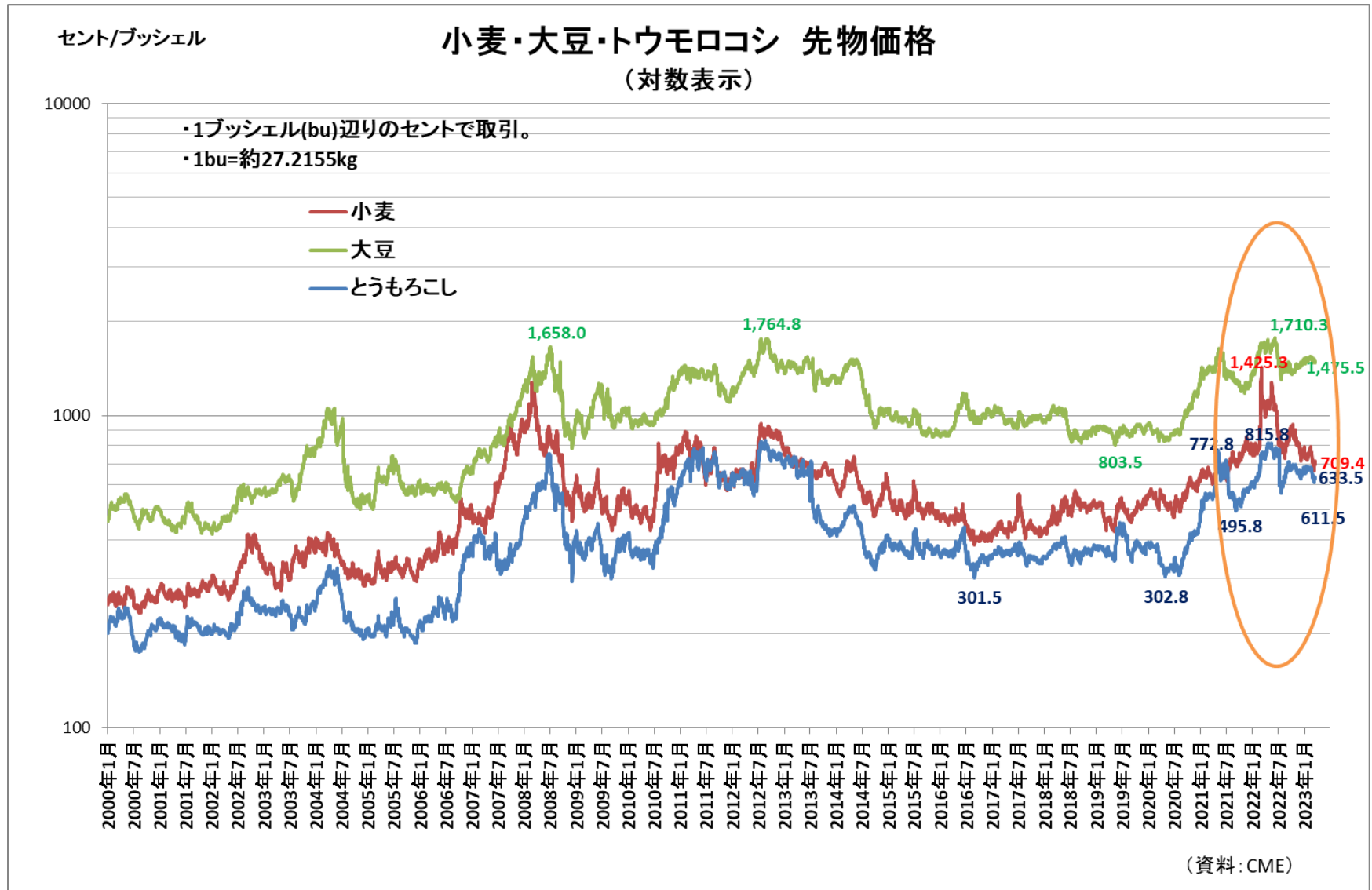


天然資源株に対する期待値は上がらず



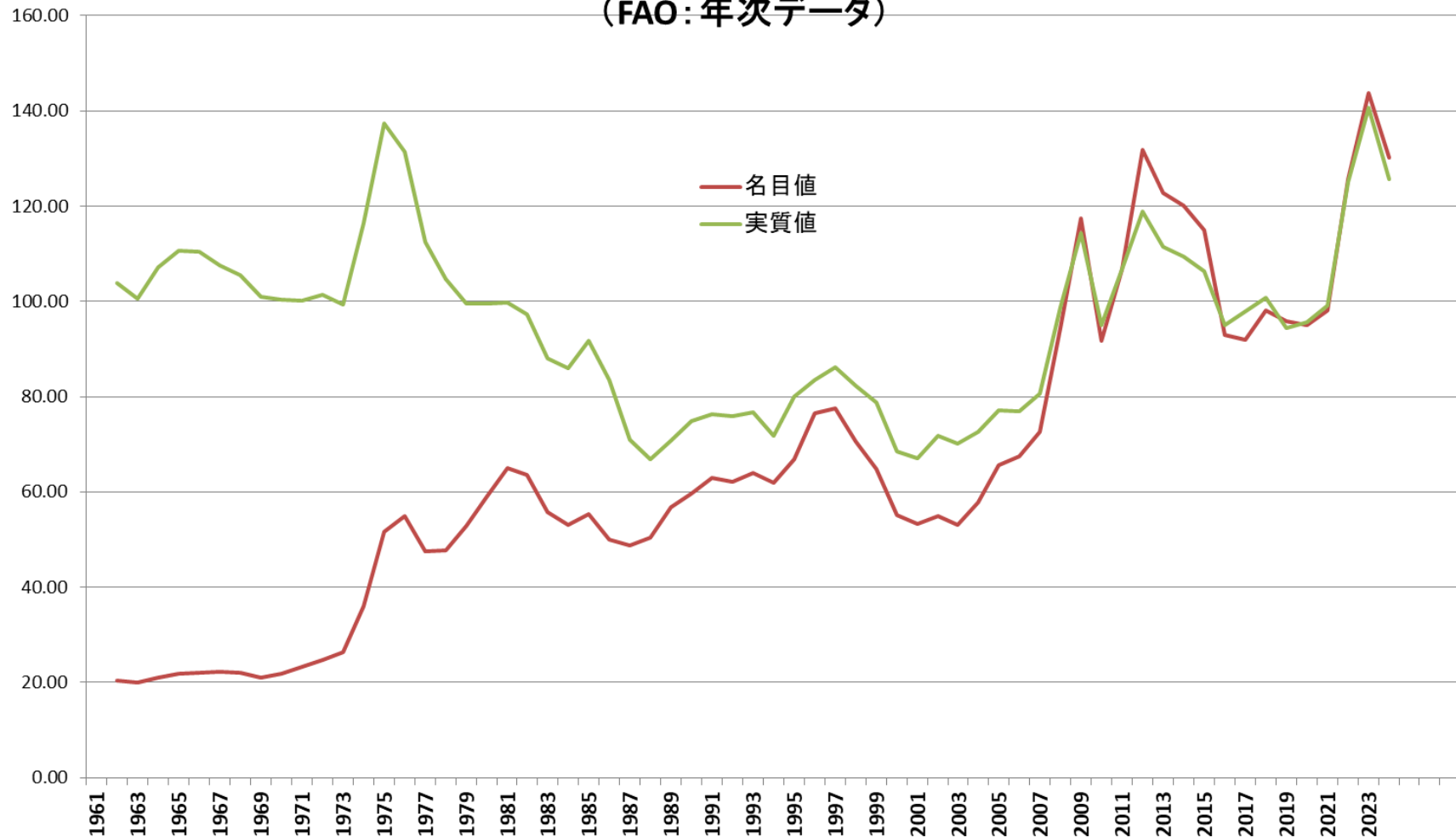
穀物価格は下落して横這いもモメンタムは弱含み

---原油価格高騰・下落と高い相関度：バイオ燃料転用需要のため---



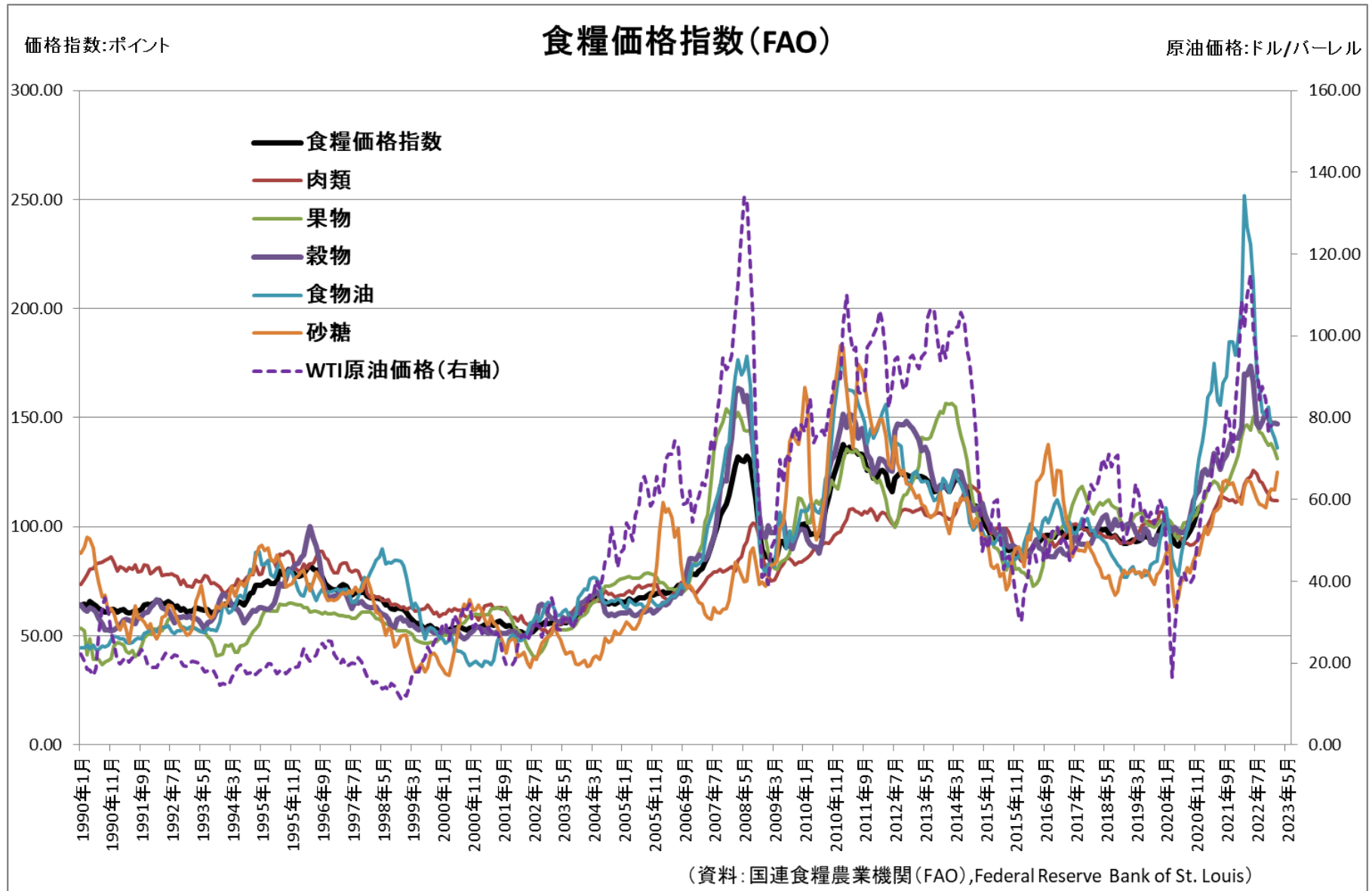
食糧価格は名目・実質共に歴史的 high に

食糧価格指数
(FAO: 年次データ)



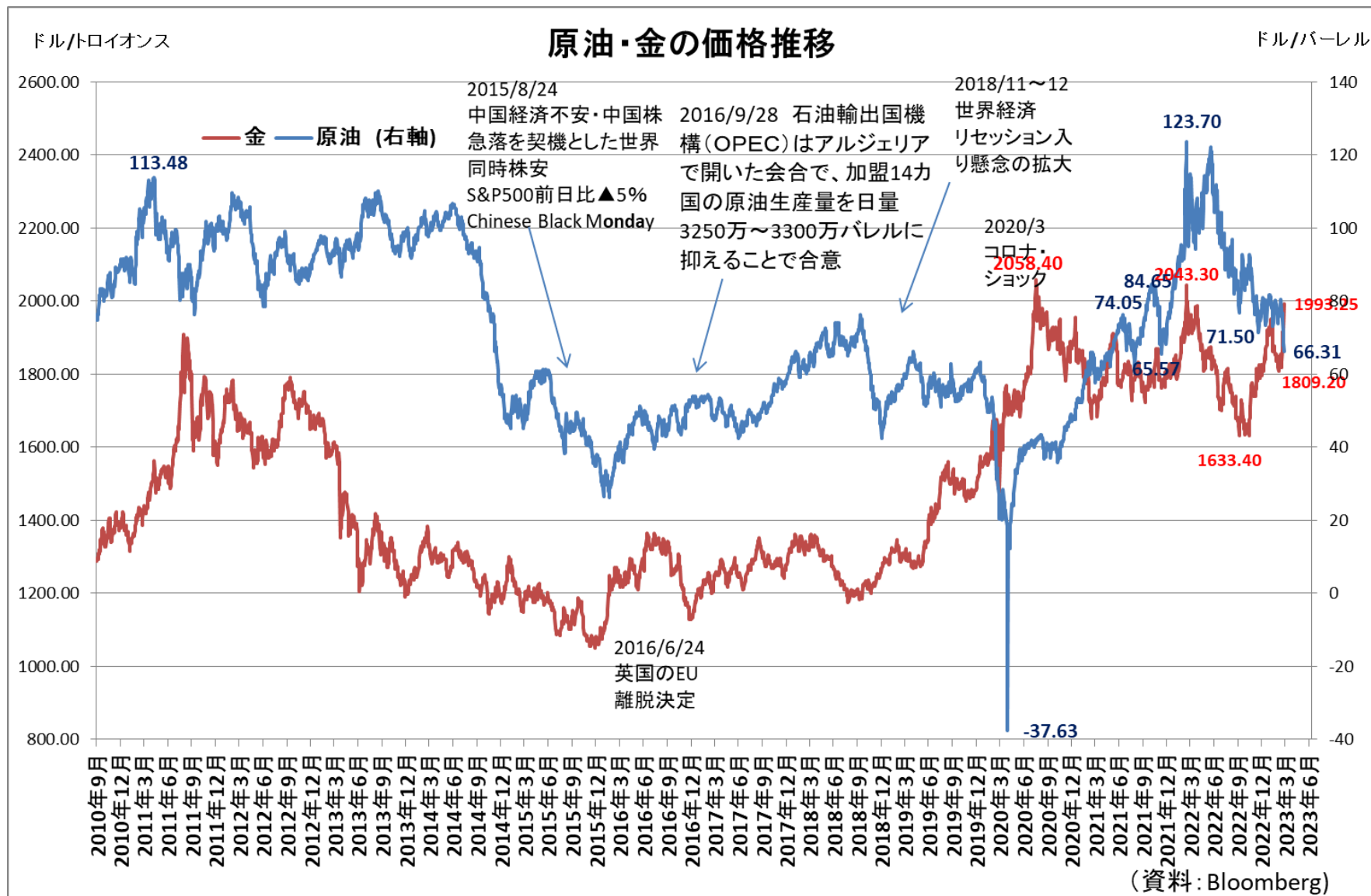
(資料: 国連食糧農業機関(FAO))

食糧価格は上昇から若干低下も高いレンジを維持



WTIはOPEC+の生産枠継続で価格上昇力は限定的

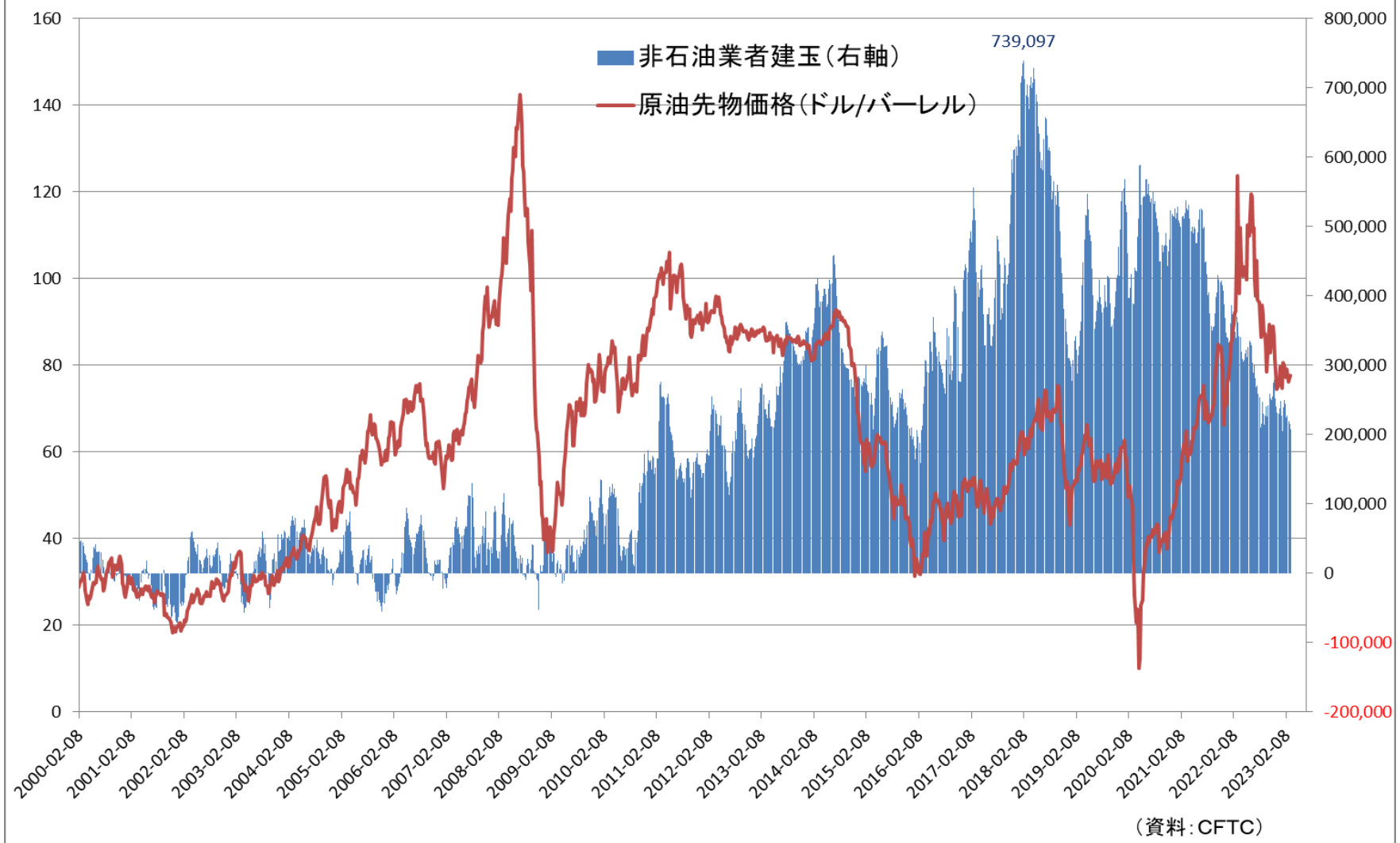
---金はドルの急落によって、短期的に、ドル代替資産として急上昇---



世界の投資家の原油先物ポジション

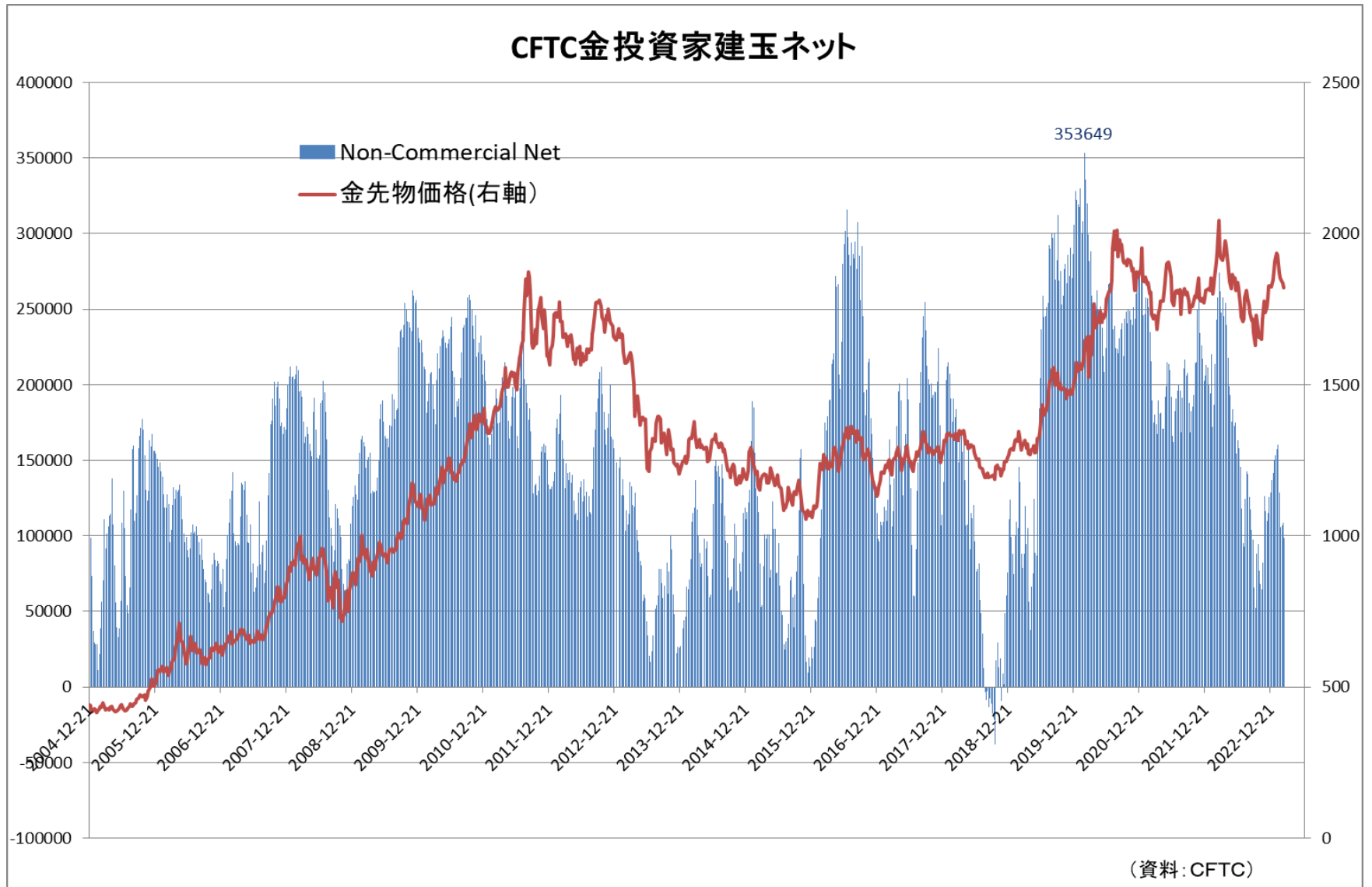
---世界景気後退観測も残存、買建ポジションやや減少---

CFTC WTI原油投資家建玉ネット



世界の投資家の金先物ポジション

---ドルのピークアウトで金の買建ポジションも当面の底入れ---

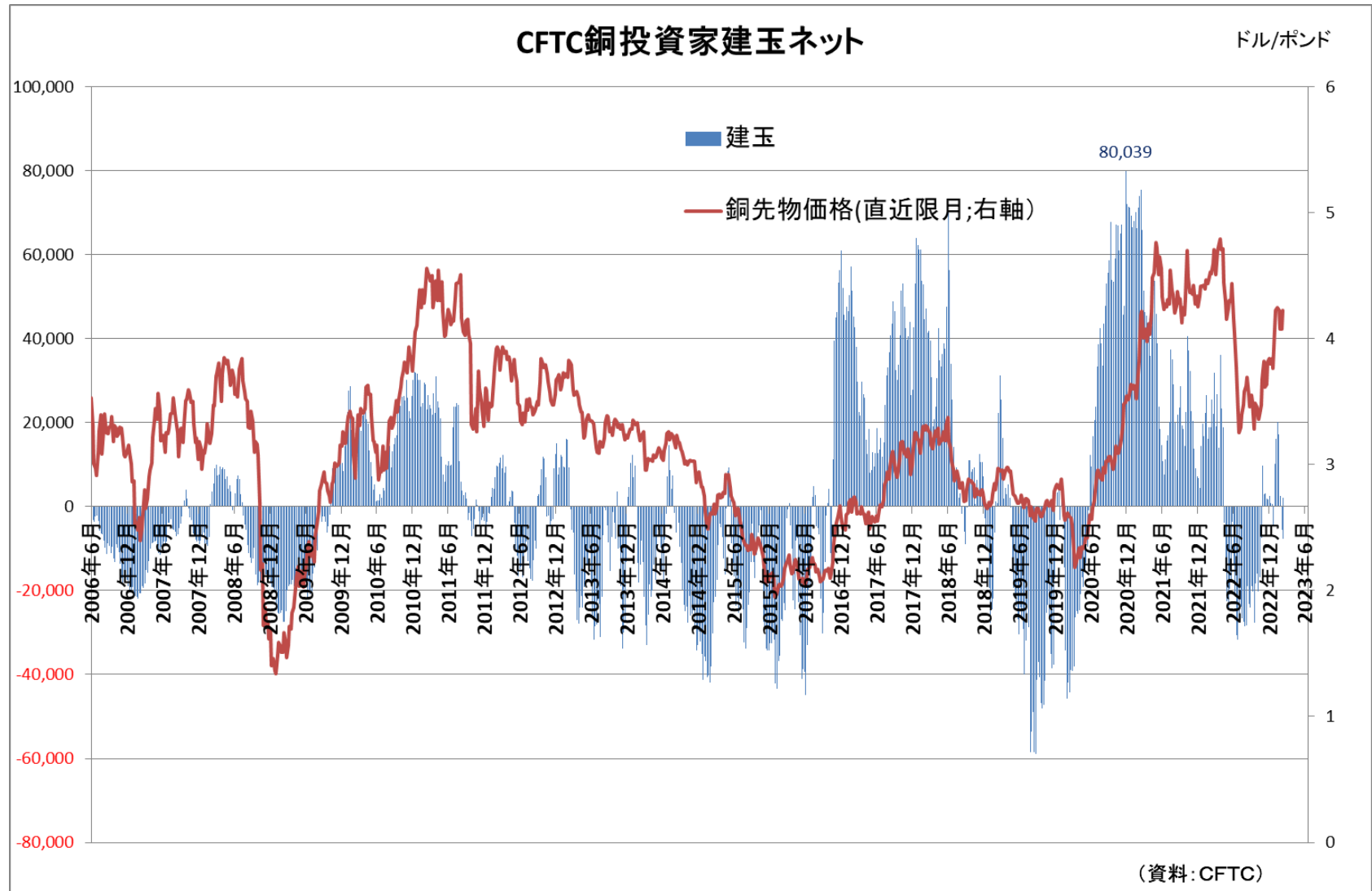


高値維持から銅価格は下落後、小反発も弱含み ---原油とは異なり、銅価格は直近の4ドル乗せもピークアウト---



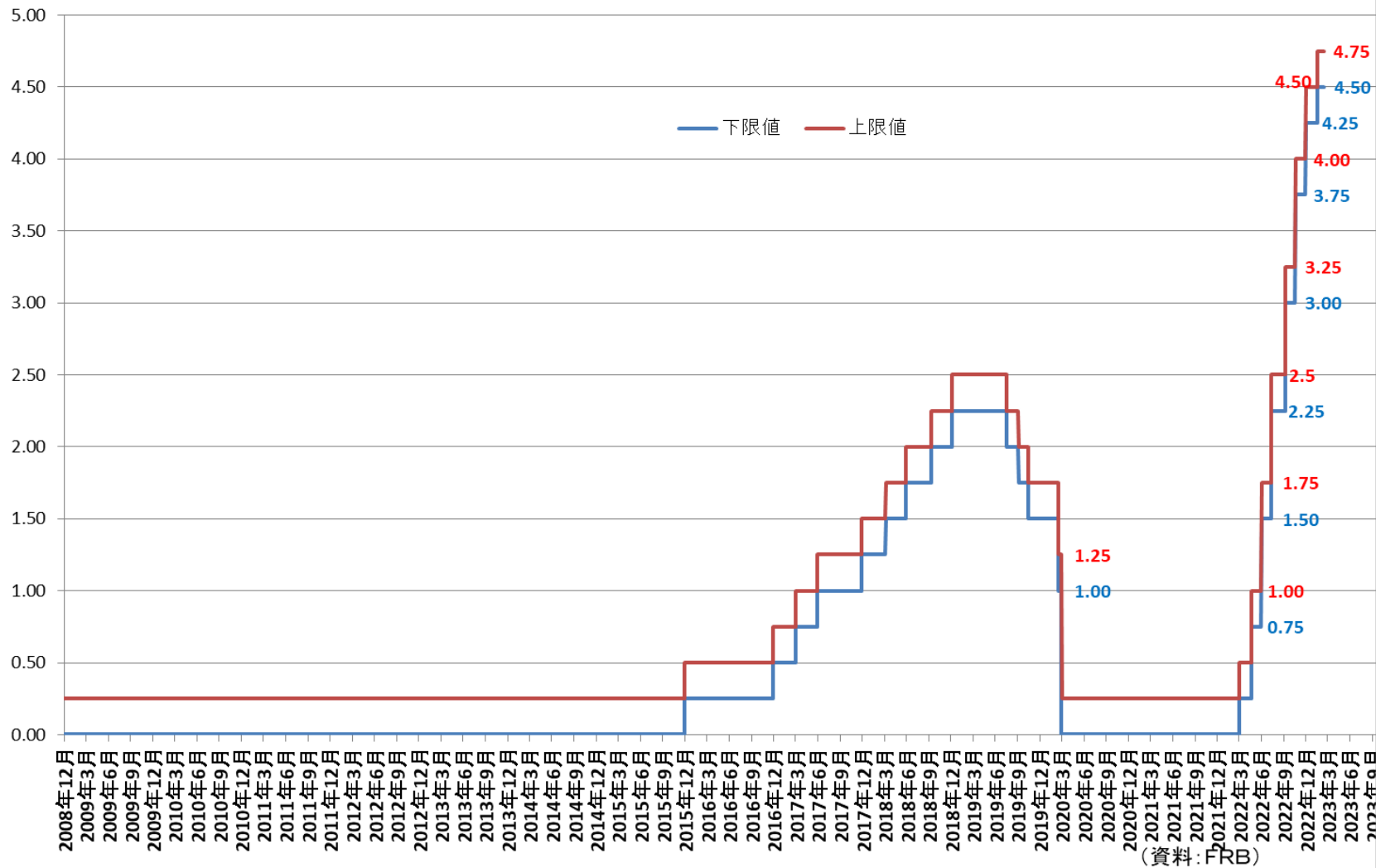
銅先物は売り越しポジションから増加も一時的

---中国回復期待による需要を織り込むも、世界景気への懸念で後退---



ドル金利動向

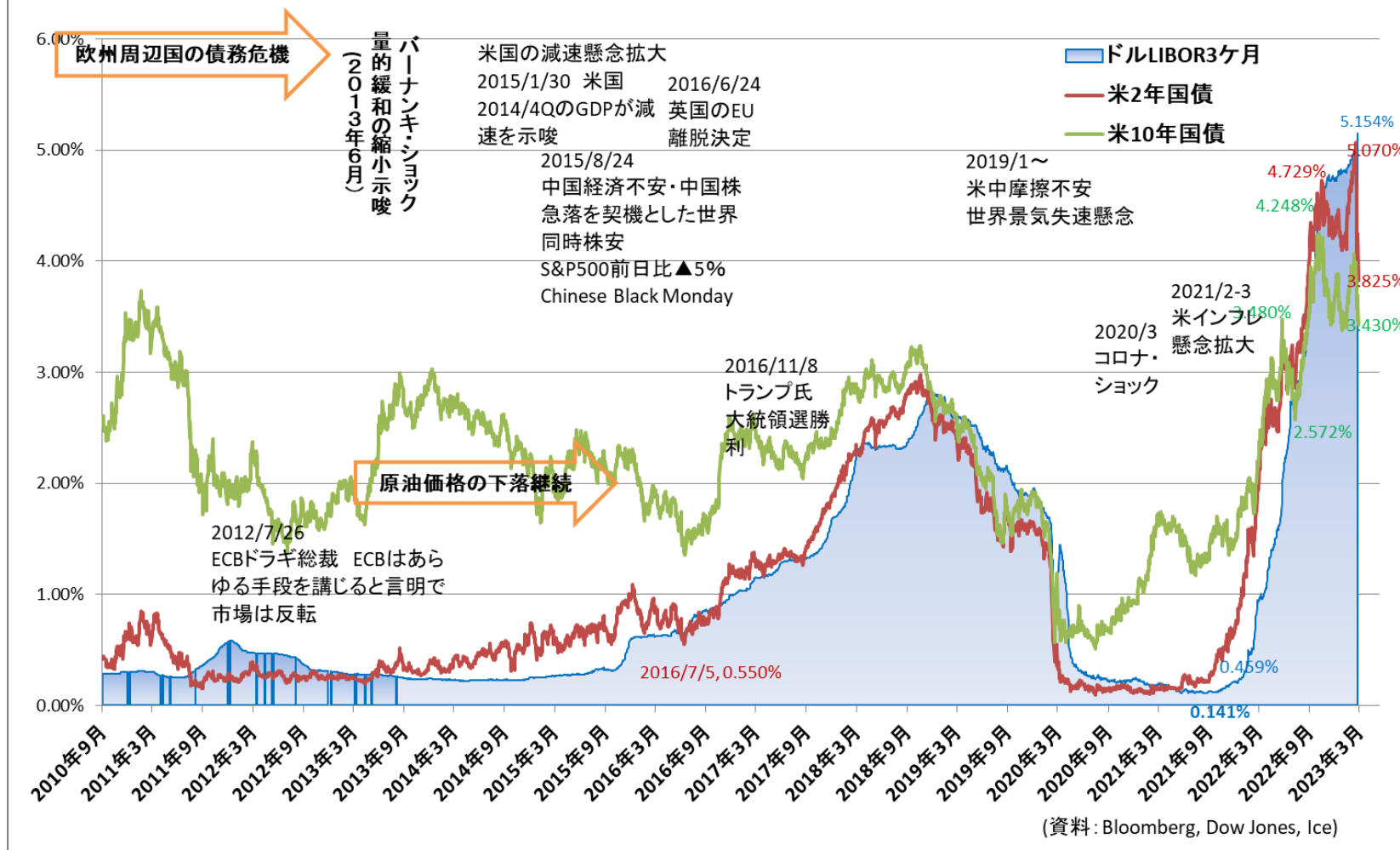
フェデラル・ファンド・ターゲット・レート



ドル金利動向

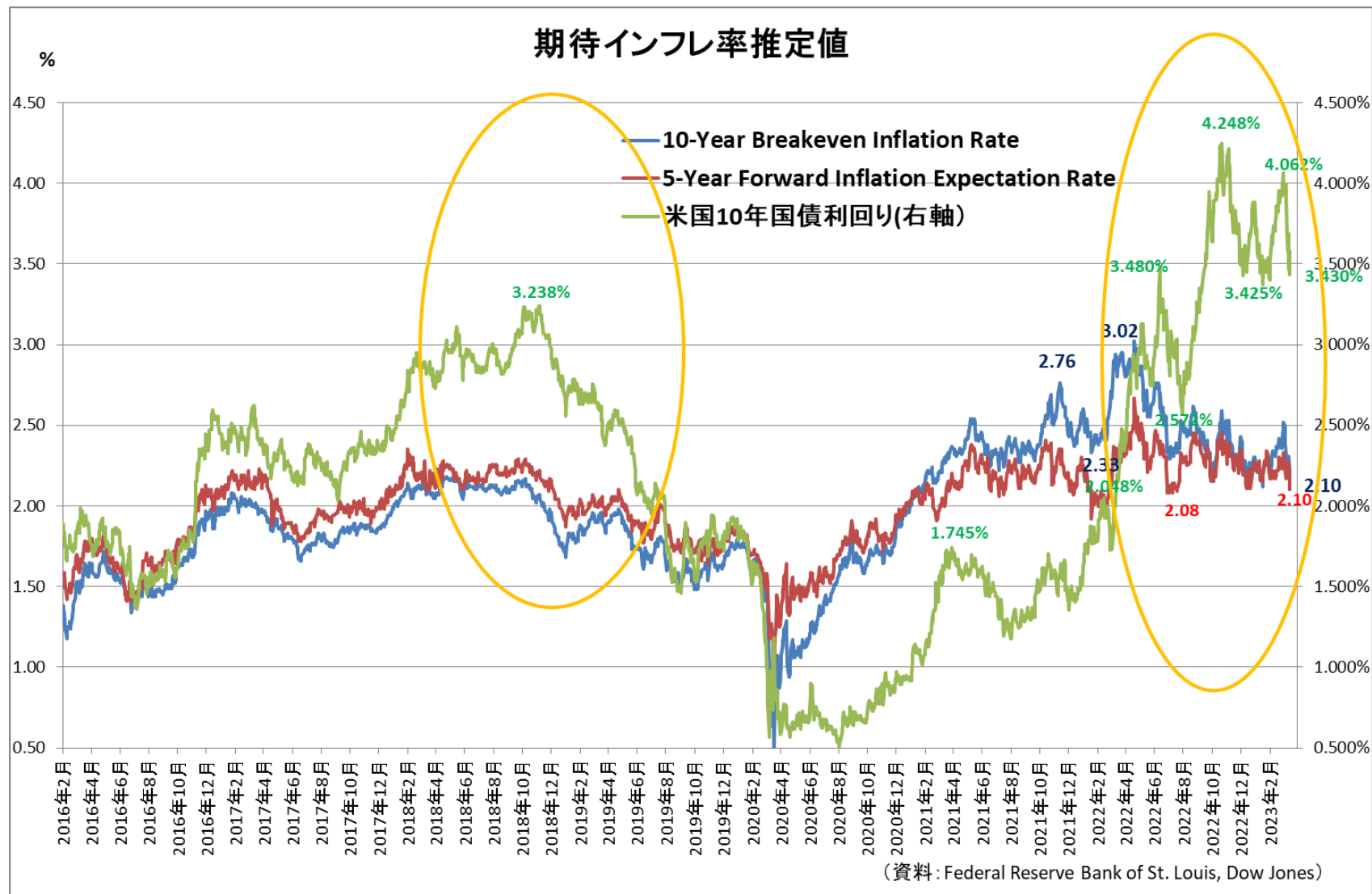
---完全な逆イールド化、先行き景気懸念を強く示唆---

ドルLIBOR3か月, 米国債2年 & 10年



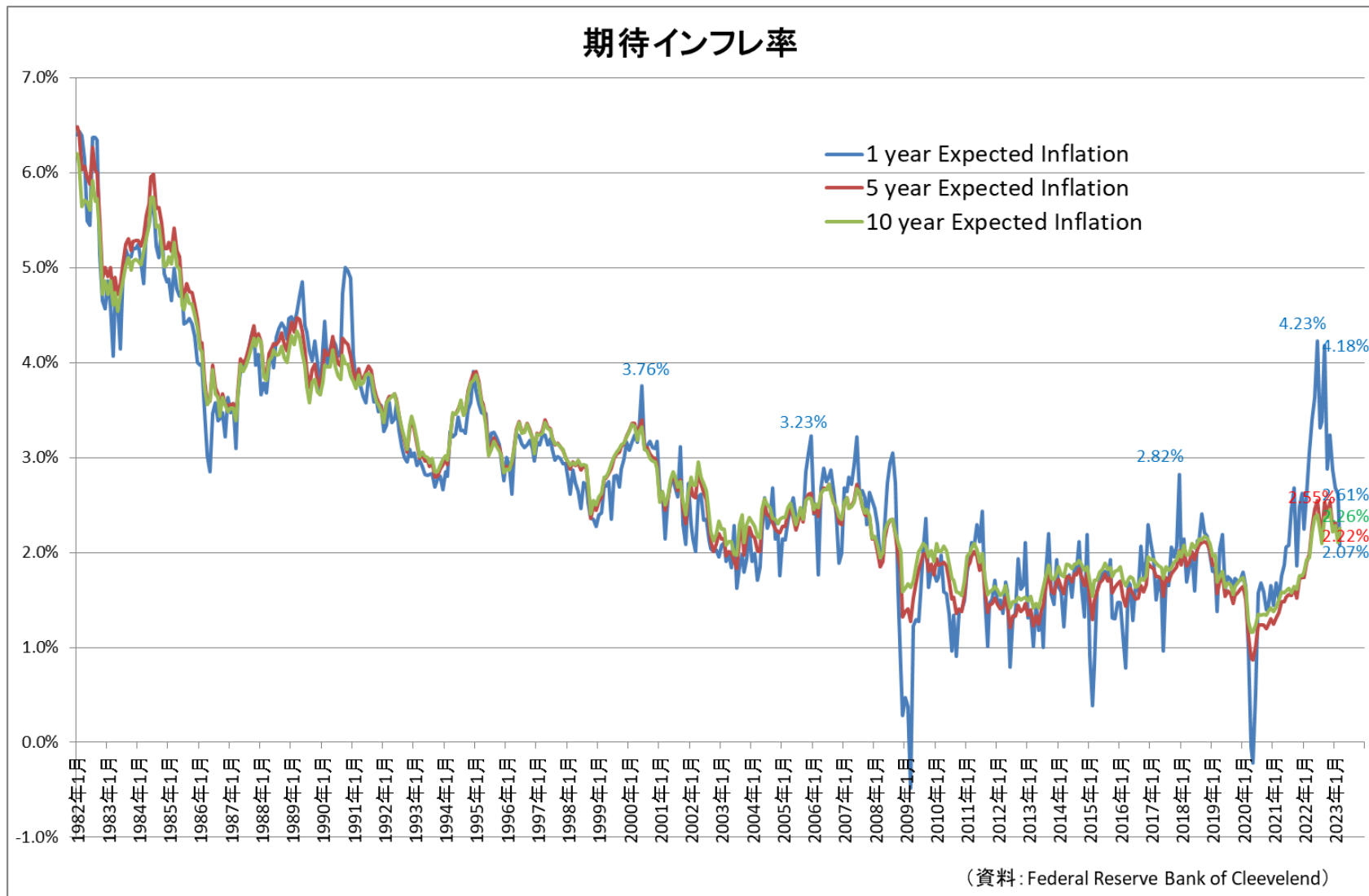
米国市場の期待インフレは上昇一巡

---10年期待インフレ率は3%が上限。2%台前半で往来状況---



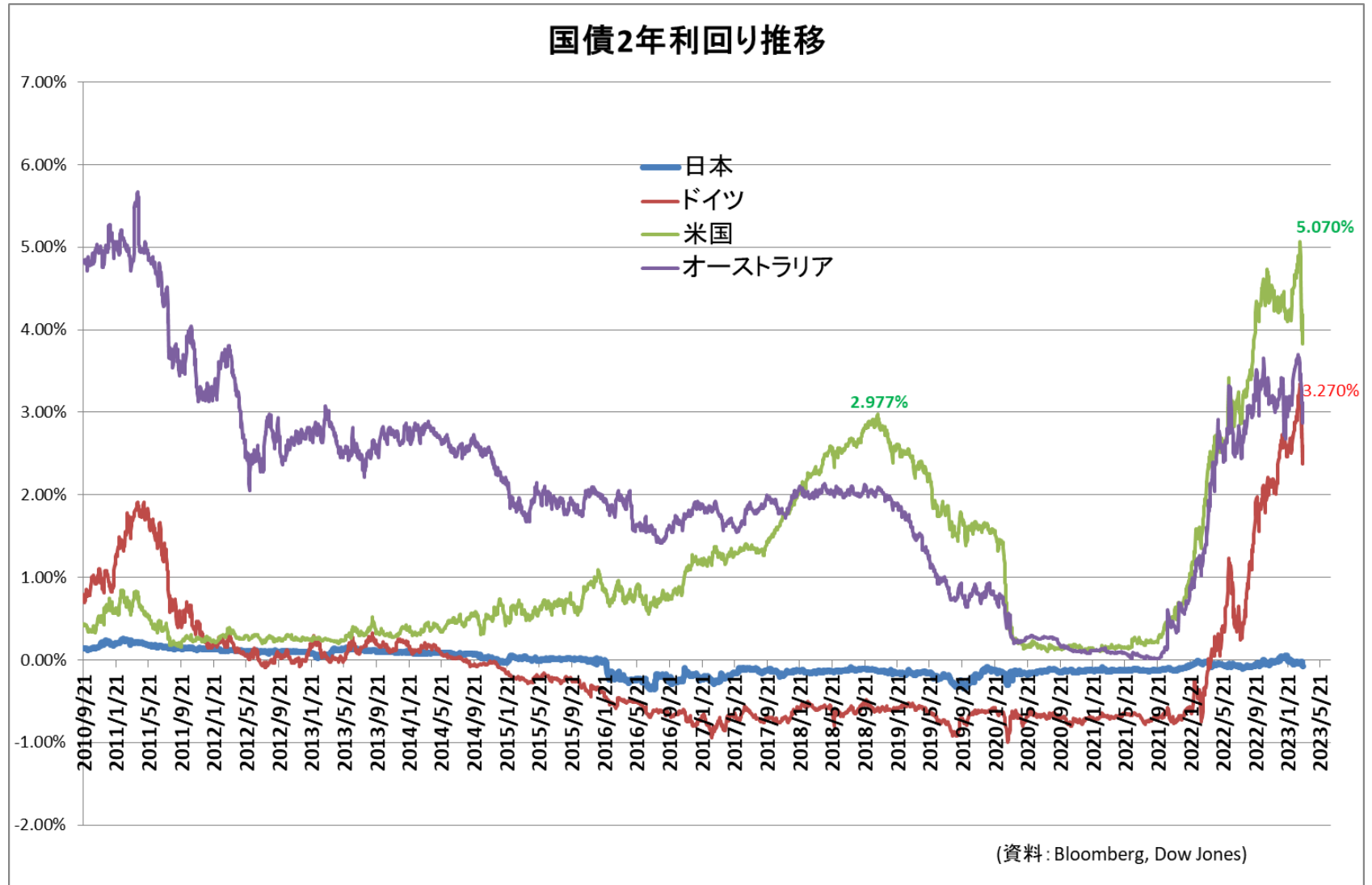
米国の期待インフレは基本低下基調

---ファンダメンタルを加味した推計は2022年6月でピークアウト---



金利動向

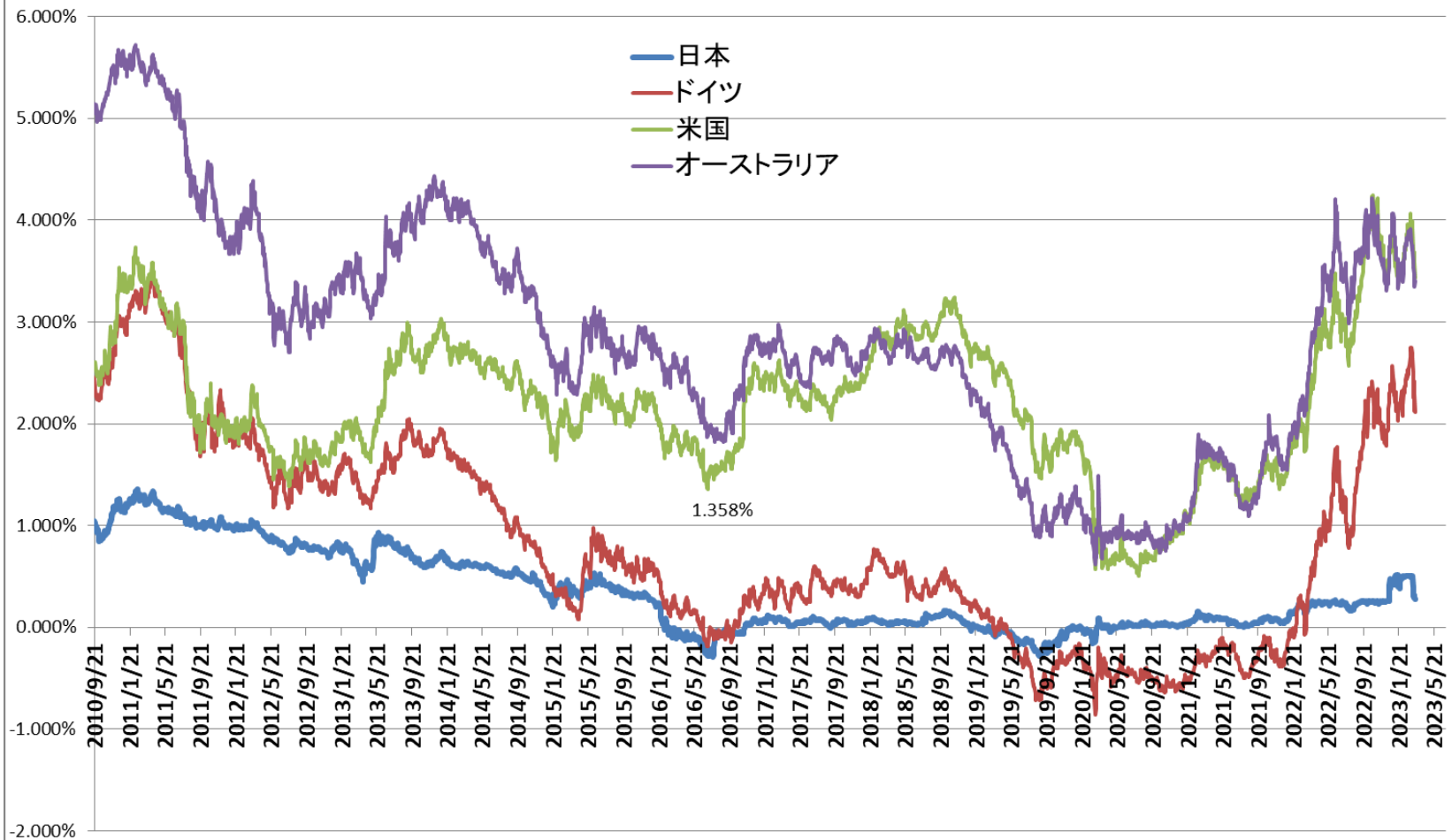
---日本の金融政策変更で2年物国債利回りもゼロ近傍---



金利動向

---日本は2022年12月長期国債の変動幅を0.5%に拡大---

国債10年利回り推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

金利動向

---欧州周辺国金利は水準切り上げも一服でリスク意識は平靜---

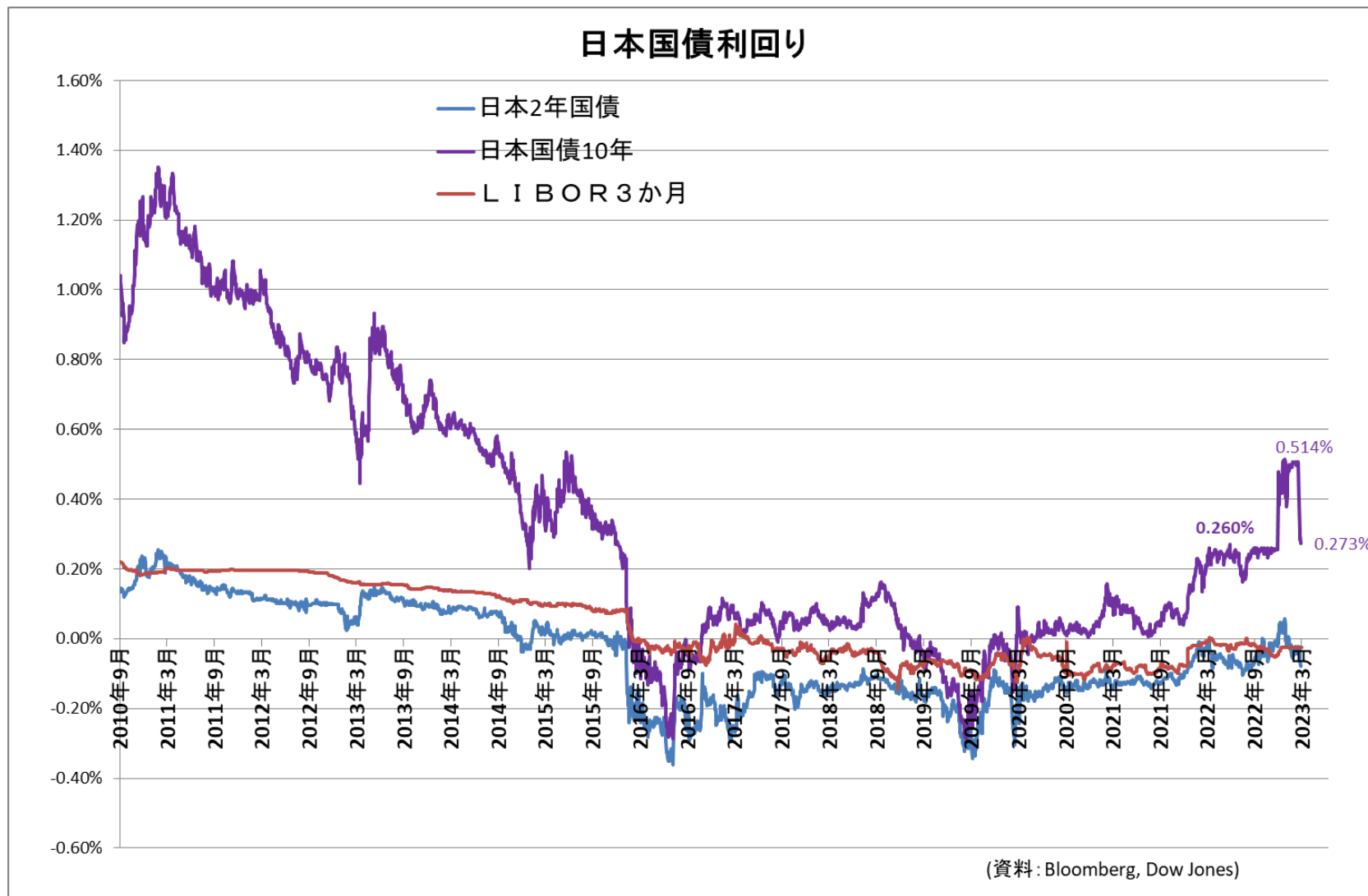
ユーロ圏周辺国10年国債利回り推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

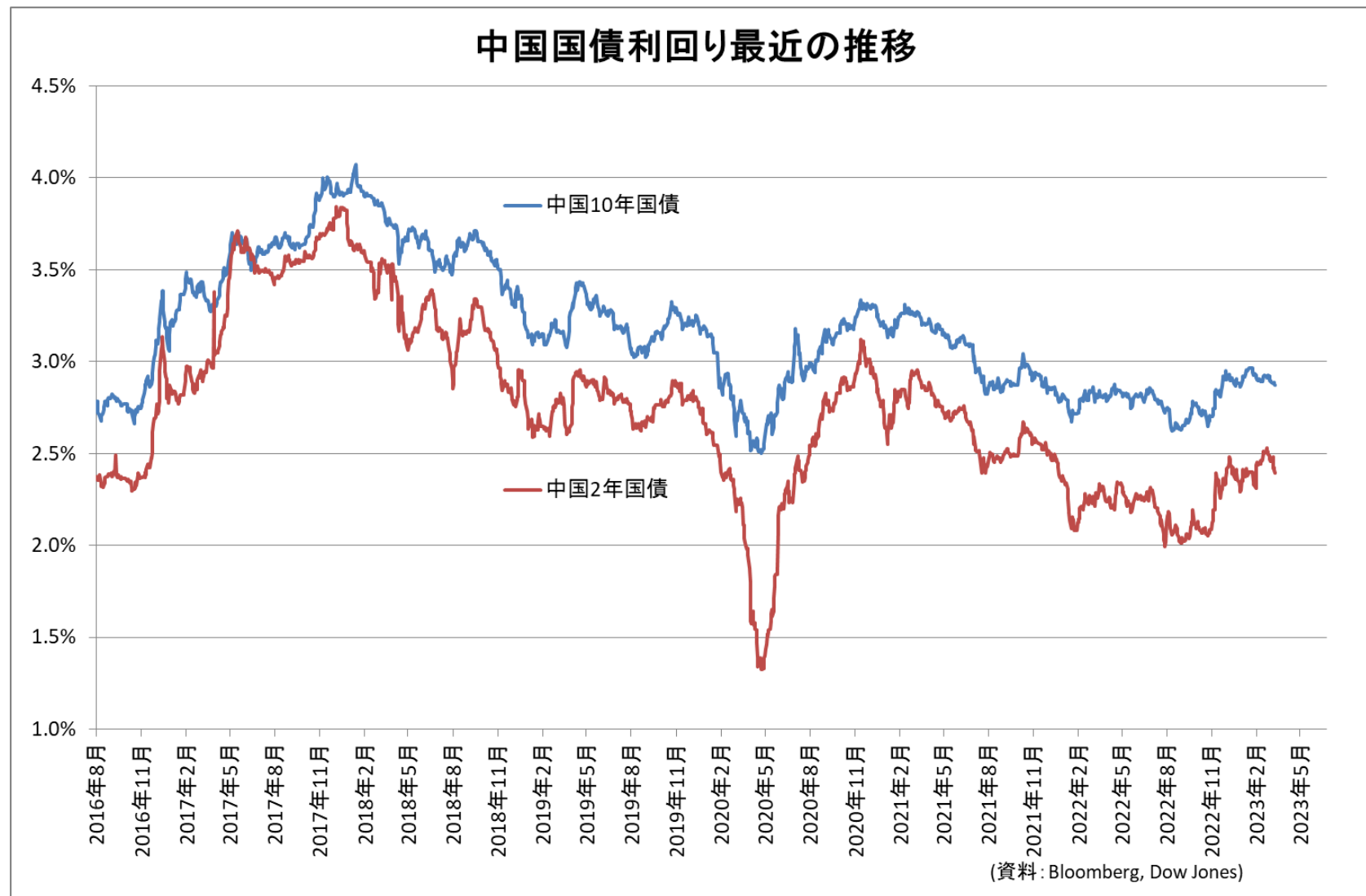
日本の長期金利も変動幅の変更で上昇も一服

---イールド・カーブ・コントロールの水準転換---



中国短長期金利共に低下傾向から若干戻りに

---直近利回り上昇はコロナ規制大幅緩和による需要回復期待---



DISCLAIMER

本レポートに含まれる情報は、予測に関するものを含め、本レポートの発行時点で、信頼に足ると考えられる資料及び情報源から取得したものです。当社は、それらの情報の正確性について疑うべき事由を認識してはおりませんが、それらの情報に関する検証を行ってはおらず、また、それらの情報について表明、保証等を行うものではありません。

本レポートの読者は、本レポートに含まれる情報の関連性、正確性及び完全性並びにそれらの情報が最新のものであるか否かについて、独自に評価する責任があります。

本レポートは、純粋な情報提供の目的でご提供するものであり、従って、有価証券若しくはその他の金融商品の売買若しくは取得の申し込み又はその誘因を目的とするものではありません。

当社は、何人に対しても、本レポートに含まれる情報を使用し、またはそれらの情報に依拠したことにより生じた損失、損害、費用及び経費について、一切責任を負いません。